

「あらかわの心」ニュース



第11号 平成22年10月8日発行

〔発行〕「あらかわの心」推進運動区民委員会
〔事務局〕〒116-8501 荒川区荒川 2-2-3 荒川区子育て支援部児童青少年課内 TEL 3802-3111 内線 3833 FAX 3802-0809
〔メールアドレス〕 arakoko@city.arakawa.tokyo.jp 〔ホームページアドレス〕 http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kosodate/index.html

「ふれあいポリス」が発足しました

7月から、区内の3警察署で「ふれあいポリス」がスタートしました。これは、荒川署、尾久署、南千住署に2人ずつのベテラン警察官を配属し、同一警察署で長期にわたって勤務することにより、地元精通する「生き字引」のような警察官の育成を目指すものです。地元密着した「ふれあいポリス」は、地域の皆さんと密接な関係のもと、地域と区と警察のパイプ役となって、相互の連携をより強化することができます。

「あらかわの心」推進運動では、あいさつ・きまり・思いやり・体験・見守りの「心をつなぐ5つの取り組み」を実践することを通して、個人の価値観や生き方の相違を超えて、大人も子どもも互いに尊重し、共に生きる地域社会を築くことを目指しています。

「ふれあいポリス」は、今後、地域全体で児童を見守るうえで、大きな力添えとなることでしょう。



▲「ふれあいポリス」指定書交付式より

プラカードコンテスト

荒川区では、毎年7月、社会を明るくする運動。強調月間として、各地域でパレードや音楽の集い等を開催しています。町屋地区では、7月25日に第九峡田小学校において「プラカードコンテスト」を開催しました。出場団体は、ステージ上で様々なパフォーマンスを行い「防犯」や「清掃」などの標語を発表しました。このコンテストでは、「あらかわの心」賞が設けられており、最優秀賞として次の標語が選ばれ、あいさつの大切さをアピールすることができました。

「あいら」で 広げよう 地域の輪

(第九峡田小学校PTA)

これからも、コンテストを通して、「あらかわの心」の輪を広げていきましょう。

※プラカードコンテストの詳細については、「あらかわ子育て応援サイト」をご覧ください。



▲発表する第九峡田小学校PTA

川の手荒川まつりでPR活動

4月29日(祝)南千住野球場で第24回川の手荒川まつりが開催されました。「あらかわの心」推進運動区民委員会は、ステージで「あらかわの心」のPR劇を演じ、多くの子どもたちの歓声の中でPRすることができました。

今回の寸劇は、新しくお目見えした「カルタ編」です。「あ」「き」「お」「た」「み」の5枚の読み札を題材に、ストーリーを組み立てています。この5枚は、「あらかわの心」の心をつなぐ5つの取り組みである、「あいら」「きまり」「思いやり」「体験」「見守り」を表現したものです。

「荒川は 笑顔とあいらつ にあう町」小さな声のA君、元気にあいらつするB子ちゃんが登場、「AくんとB子ちゃん、どちらが良いあいらつですか」ナレーター問いかけに、子どもたちは、元気な声で答えてくれました。

この寸劇「カルタ編」を通して、子どもたちだけでなく、お父さんお母さんにも「あらかわの心」の大切さが伝わってくれたようです。

また、「あらかわの心」ブースでは、「あらかわの心」カルタを題材にしたクイズを実施しました。当日は、350名を超える子どもたちがクイズに挑戦し、「あらかわの心」の内容についての理解を深めました。



▲PR劇を上演しました

「あらかわの心」

クリアファイルを配布しました

「あらかわの心」推進運動区民委員会は、このたびクリアファイルを作成し、区立小学校の全児童に配布しました。

このクリアファイルは、「あらかわの心」推進運動をわかりやすく紹介した内容を印刷したもので、学校・家庭間の連絡書類入れなどとして使用することにより、この運動の趣旨を広く浸透させることを目的としたものです。

来年度以降も新1年生全員に配布する予定です。

多くの子どもたちや家庭に「あらかわの心」推進運動が広く根付いていくように「あらかわの心」クリアファイルを大いに活用して欲しいと思います。



裏面



表面

▼家族のぎずなキャンペーン▲

荒川モラロジ事務所では、毎年春と秋の2回 公益財団法人モラロジ研究所が発行する小冊子「ニューモラル」を街頭で各1000部ずつ無料配布しております。

春は「家族のぎずなキャンペーン」と銘打って、家族のぎずなを深め、親子・夫婦関係のありかたを学べるニューモラルをお配りしています。今春は4月25日(日)午後2時より町屋駅前と荒川遊園地前の2箇所で行ないました。家庭崩壊が社会問題化している今日、本来の家庭の役割を再確認し、少しでもこの小さな小冊子ニューモラルが家族のぎずなを深めるお役に立てばと、心をこめて配らせていただきました。

(荒川モラロジ事務所 代表世話人 木崎 重安)



▲荒川遊園地前にて

すみよいまちづくりを目指して

青少年対策町屋地区委員会では、毎月20日に清掃活動を行っています。「わがまちはわが手で守る」という観点で、平成6年12月から始まった、すみよいまちづくり推進活動。も16年目となり、9月で200回を迎えます。参加者は平均60名以上、時には小学生が70名近く、先生の引率のもと参加し、総勢150名位になります。

放置自転車、有害ビラ撤去等の活動は、当初いちごっこでした。しかし、現在は、地域の方々の理解と協力とで、地道な活動が町屋駅周辺の環境を良好な方向へと推移させています。継続は力なりを



▲町屋駅周辺での清掃活動

実感しています。
(青少年対策町屋地区委員会 三ツ山 純子)

荒川交通少年団 野外訓練

8月1日、荒川交通少年団の野外訓練を国営武蔵丘陵森林公園で実施しました。春や秋の交通安全運動の期間は、高齢者に交通安全を呼び掛けたり、ミニバトカーに乗って広報活動をしています。

今回は訓練とレクリエーションを行いました。集団行動訓練で、気をつけ・右へならえ・なおれ・敬礼・右向け右・回れ右」等を学びました。その後食事をしてから、アスレチックコースで体力づくりをしてからプール等で遊び、楽しい一日を過ごしました。

交通少年団は、こうした訓練や交通安全教育など、いろいろな活動を通じて子どもたちが交通ルールやマナーを身につけ、やさしさと思いやりの心を持った交通社会人として育つことを願って結成されています。

(荒川交通少年団 団長 江田 憲勇)



▲集団行動訓練「敬礼っ!」

荒川区青年団体連合会 リーダー研修会

7月31日・8月1日の1泊2日で、群馬県の青年たちとのリーダー研修会が、群馬県青少年会館で開催されました。荒川区青年団体連合会から13名、社会教育課から2名の職員が参加し区役所を出発しました。

初日は、自然体験研修として碓井峠を流れる清流「霧積川」にてホタルの餌となるカワニナを採集しました。夜は群馬、荒川の青年たちが「幸せとは」というテーマでディベートを実施、予定時間をオーバーするほどの白熱したものになりました。2日目は、博物館・美術館を巡り群馬県の歴史・文化にふれる内容でした。

1泊2日の短い研修会でしたが、荒川の青年たちも今回の交流で様々なことを感じたと思います。その気持ちや経験を、これからの荒川区の青年活動にいかしていきたいと思えます。



▲群馬県立近代美術館での記念撮影

おせっかい体験談 子ども版 ~その2~

区内の小中学生から寄せられた「おせっかい体験談子ども版」を、前号に続き紹介いたします。

設問	回答(小5 女子)	回答(中2 女子)	
1	あなたが親切にしておいて、喜ばれたことは何ですか。	お年寄りのゴミ捨てを手伝ってあげた。	となりの家の植木鉢が倒れていたの、直してあげた。
2	その時なぜ親切にしたいと思ったのですか。	階段の上り下りがきつそうだったから。	倒れていたら、その家の人ががっかりするだろうと思ったから。
3	また、親切にしておいたことは何ですか。	お年寄りが笑顔になってくれたこと。	「ありがとう」と言われたこと。
設問	回答(小5 女子)	回答(中2 男子)	
4	あなたが親切にしておいて、うれしかったことは何ですか。	自転車で転んでしまった時に、手を貸してもらった。	店に忘れ物をした時に、店員が追いかけて届けてくれた。
5	その時どう思いましたか。また、自分ならどうしますか。	ちょっと、はずかしかったが、自分でも転んでいる人を見かけたら、声をかけて助けてあげたい。	大事な物だったのでうれしかった。優しいなと思った。自分なら、店に置いて取りに来るのを待つ。
設問	回答(小6 女子)	回答(中1 男子)	
6	あなたは「おせっかい」とは、どういうことだと思いますか。	そっとしてほしい時に、やけに心配してきて迷惑しちゃうこと。ありがたいけど、迷惑。	どんなことでも首を突っ込む、世話好きな人。

荒川消防少年団 野外活動

荒川消防少年団では、少年少女への防火思想の啓発・普及に精力的に取り組み、地域の防火活動の担い手となる若者の育成に努めています。その活動の一環として、茨城県のさしま少年自然の家にて、2日間の野外活動を実施しました。

飯ごう炊飯では、火起こしや調理に悪戦苦闘しながらも、みんなで協力してカレーを作るなど、子どもたちが互いに助け合う場面が多く見られました。短い宿泊生活でしたが子供たちにとっては大きな成長が見られた活動でした。

荒川消防少年団では、小学1年生から中学3年生までの団員を募集しています。興味のある人は、是非、荒川消防署までご連絡下さい。

(荒川消防少年団 寺島 稔)



▲みんなでカレーを作りました